



2011年

5月



東日本大震災に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
あおぞら財団が考えたことを9面に掲載しています。
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

西淀川の漁師

「緑陰道路でゲーム 福漁港を目指そう！」を開催しました。(3月26日、緑陰道路サロン世話人会主催、参加者25名)
福漁港で西淀川区の漁師、北村泰規さんにお話を伺いました。北村さんは西淀川区大野に生まれ育ち、14歳の頃から漁に出、70歳を超えた今も漁師をしています。
「公害がひどかった時代の10年間は、海が汚れ、魚が獲れないので、陸で別の仕事をしていました。」
西淀川の自然を相手に仕事をしてきた北村さんの言葉に、参加した子どもたちは真剣に耳を傾けていました。

●目次

特集 西淀川まちづくり

西淀らしくまちづくりをエンジョイ	進士五十八	2
エコでつながる西淀川	小平 智子	4
西淀川交通まちづくりプロジェクト	谷内久美子	6
西淀川バリアフリーマップ	谷内久美子	7
あおぞら苑2号店(II)できました	辰巳 致	8
東日本大震災…あおぞら財団の向き合い方	藤江 徹	9
〈中国からの手紙〉多国家間での活動でアルゲン川中流の湿地を守る②	張 亜 東	3
〈リレーエッセイ〉最後?の卒業式	林 美帆	10
〈忙中一筆〉最近気づいた、生活へのこだわり	山本 容子	12

視点 SHITEN

環境再生にかかわる課題を、さまざまな視点から自由に論じるコーナーです。

特集 西淀川まちづくり

エコとか、交通とか、福祉とか、地域再生とか、いろいろなテーマのまちづくり。

本号では西淀川地域で取り組まれている活動と関わる方々のことをご紹介します。

いろいろありますが、思いは一つ。「住んでるまちを良くしたい」という話です。

西淀川まちづくりを「インジニョイ」

進士五十八

四月八日。今日で私も六十七歳になった。

庭園、公園、緑化、まちづくりから、自然保護、国立公園へ。環境や景観の視点から随分、幅広くいろんな分野の専門家、そして公害問題からアメニティ運動までたくさんの方々と四十余年間、おつきあいいただいて本当に豊かな経験を味わわせてもらった。

「みんながって、みんない」

そして、この歳とになってしみじみ思う。

第一に、人間というのは、年齢としによって物の見方考え方、事への取り組み方やそこでの判断のし方は変化することだということ。

第二に、人間というものは、自らの専門分野や所属、立場や地位、生活場所の地域性などで、価値観や思考方法とか行動のし方が異なり或る種の傾向とか共通点ができるものらしいということ。

よって、第三に、特に強い利害がな

い場合には、この歳になると、何事も許せる。し、それぞれの言い分や行動が理解できる。ような気がして、つまり「みんながって、みんない」と思うことができるのである。

まだ大学助手だったころの私を学生は「恐かった」というし、学長を終えて卒論をみた諸君には「面白くて、ダイスキ」といわれた。

二十代には、すべてに完全で、造園学への使命感を要求した。もちろん学生以上に自らにもそれを科していた。四十代には、それなりの自信と充実感をもちながらも、もつと前へ、もつと広く、もつと強くと力いっぱい、もつと出来ない学生をやさしく包む余裕はもてなかったように思う。

まちづくりでいえば、グリーンミニマムをクリアし、景観も多様の統一ができていなくてはガマンがナラナイのであった。こんなスケール、こんな密度、こんな材料を使うようなデザインは許せない。「斯くあるべし」を縷縷、説きつづけたものである。

それもインジニョイ

六十代になると、相手の説明や事情を聴く余裕もでき、しかも相手はどういう立場と状況のなかにあつての発言かまでも推察して、必ずしも適切ではない水準であつても一応理解したうえで、出来ればこうしたらどうかと、オルタナティブをわかり易く、しかも強制することなく、本人が納得して答を出した形で修正するよう導くこともする包容力をも発揮する。

いろんな人物の発言にも、まちのデザインやデザインにも、それなりの良さや価値を見つけて、ここではそれもインジニョイと言つてあげられるようになる。

夢窓国師に「庭ニワに得失トクシツはなし、得失は人の心にあり」があるが、どこにでも、何にでも、それなりの味わいを見出す広い心ができたともいえるし、トコトン追究しようという気迫キバクの衰えも多少あるかもしれない。

理想都市を実現するまで議論と努力を捨ててはならぬ、か。住めば都ミヤコ、か。年齢のせい、か、一神教と多神教の違いからかはわからないが、絶対的に正邪を決めるか、相対化して納得できるか。人間社会の歩みを、発展史として捉えるか、変遷史として捉えるか、でもあ。科学の進歩には前者が、しかしひ



あおぞら財団主催の環境フロンティア講座で
“みどりのまちづくり”について
講演する進士先生（2010.12.17）

との心と社会の平安には後者も捨てが
たいものである。

まちづくりの基盤は健康

私が、あおぞら財団の発足時の理事
をお引き受けしおつきあいいただき乍
ら感じた違和感には、法と正義を希求
して止まない立前^{たてまえ}すべての理事会のあ
り方に対して、本音^{ほんね}で楽しくがまちづ
くりという東京下町育ちの私の体質が
反発したためではなかったか。それ
も、私があおぞら財団に親しみを感じ
てきたのは森脇さんたち西淀川の方
ちの人柄のおかげである。まちづくり
の基盤は第一に健康でなければなら
ないが、デザイナーたちが言うように統
一感ある景観である必要はない。それ
ぞれの地域や場所らしさと、何よりも
住民みんなが元気で楽しくくらせる環
境を育てることこそ一番である。

（しんじ いそや・東京農業大学名誉
教授／あおぞら財団顧問）

進士先生がラジオに出演します

NHKラジオ深夜便「大人の旅ガイ
ド」の生電話インタビューに出演。
全国の名園の魅力や見方、そして進
士先生ご自身の体験やエピソードをお
話します。

2012年3月までの、毎月第二水
曜日深夜（翌木曜日）午前0時30分～
40分頃出演予定。

中国の 手紙 你好

多国家間での活動で

アルゲン川中流の湿原を守る②

NPO「綠色龍江」総幹事
張 亜東

【前号の続き】しかし現在、
人類の活動がこの地域を脅
かしている。僅かに中国の
側から見るだけでも、ハイ
ラル河のダム建設と水質汚
染問題、フロン湖の水位を
上げるために実施した「引
河済湖」（川水を引いて湖
を救済する）プロジェクト、
フロンボイル市における火
力発電、石油化学など大量
の水が必要な工業、そして
炭坑や石油採掘業種の発展などが、



アルゲン川中下流の湿原 鳥の重要な休息地
（撮影者：郭玉民）

不適切及び生態系
保護制度の不完全
などの問題が存在
している。人々は
急速に膨らむ短期
的な経済利益を前
にして道に迷い、
より深刻で長期的
な生態系の危機を
軽視した。

中国、ロシア、
モンゴル三国政府



「引河済湖」プロジェクト水門
このプロジェクトはアルゲン川中下流
の湿原の生態水量を脅かしている。

短期間に
この生態
系に多大
な、しか
も修復不
可能な破
壊をもた
らしてい
る。同時
に、ロシ
アとモン
ゴル両国
にも水資
源管理の
の関連部門はすでに多くの保護措置
を取っている。各国国内で自然保護
区を作っただけでなく、国境を超
えた協力も行われている。例えば、
中国、ロシア、モンゴル三国共同で
作ったダフル国際自然保護区であ
る。この他にも、多くのNPO及び
専門家がこの地域に注目しつづけて
おり、「Rivers Without Boundaries」
という名の保護ネットワークを発起
し、連携して活動を提唱することで、
ユーラシア北東部の複数国家に跨る
流域の健康を守り、最も良い河川管
理の方法を推し進めたいと願ってい
る。

（翻訳：巫觀^{ウワン}）

エコでつながる西淀川 佃連合振興町会と西淀川ESDで取り組む循環型まちづくりへの試み

小平 智子

西淀川ESDで進めてきた菜の花プロジェクトによる廃油回収。教育関係者だけではなく、振興町会、地域の店舗等にも拡がり、今春、トヨタ財団地域社会プログラム助成事業として採択されました。プロジェクト名は「エコでつながる西淀川」環境教育・資源回収でつながる高齢者と子供たち」です。

エコの活動で地域の絆を深めたい 佃連合振興町会で廃油回収はじまる

2010年10月より、佃連合振興町会で廃油回収がはじまりました。



佃連合振興町会 環境衛生部長 津田安基さん

西淀川ESDの活動を、平田房夫佃連合振興町会会長にお話したところ、佃地区は古紙や古布などの資源回収に力を入れており、その一環として廃油回収にも取り組むことになりました。今まで教育機関や地域の店舗等呼びかけ協力者を募り地道に回収拠点を増やしてきましたが、振興町会を挙げての取り組みは、面的に拡がる大きな一歩です。「佃はエコにとりくむんや」という平田会長の言葉を、プロジェクト名「エコでつながる西淀川」として用いました。誰でも気軽に参加できるエコの場として拡げていきたいと思えます。

また、振興町会の既存の資源回収の取り組みと併せて実施する等、市民にとって負担の少ない方法を模索していきたいと思えます。

家庭から出る廃油を回収したい 廃油リサイクル業者の協力

廃油リサイクル業者の協力も得る

ことができました。尼崎市にある(株)浜田化学です。飲食店等の事業者からの廃油は法律により回収が義務付けられ、発生した廃油の4分の3がリサイクルされていますが、一般家庭から出る廃油は発生量の9割にあたる9万トン(年間)が廃棄されています(全国油脂事業協同組合連合会試算による)。浜田化学では、先代の代表取締役が生活する佃地区の集合住宅、佃コーポで平成15年から廃油回収に取り組んでいました。事業系の廃油回収のルートの中に一般家庭の廃油回収のルートを組み込む試みです。今回、西淀川菜の花プロジェクトの活動を知り、協力を申し出てくれました。

活動が持続可能なものになるため



佃コーポでの回収の様子。浜田化学が平成15年より実施。



4月2日、エコでつながる西淀川キックオフミーティング開催。
25名が集まりました。



3月19日、佃1-3町会の廃油キャンドルづくりの前に、
紙芝居「さあはじめよう！」を読むガールスカウト大阪26団

には、事業として成り立つことが不可欠です。量の少ない家庭からの廃油を、効率よく集める方法を模索していきたいと思っています。

地域全体でESDを

ESDは「1人ひとりがかさまな「つながり」の中で生きていることに気づき、より良い社会づくりに参画するための力をはぐくむ

教育」とされています。

西淀川ESDでは、普段の生活では接点の少ない、異なる年齢の子どもたち（小・中・高・大学）と大人が、「菜の花プロジェクト」という具体的に形の見える資源循環の仕組みづくりに参画しながら、互いに学び合いました。

今回助成が決定した、トヨタ財団の内定通知書には「本プロジェクトを通じ、地域ぐるみの『エコ』の活動が具体化されること、特に児童・生徒と高齢者の世代を超えた協働が実現することを期待しています」と

記されています。まさに、西淀川ESDで進めてきた活動を、学校間だけでなく振興町会という地域の自治組織も入れて拡大させることが求められています。

笑顔エネルギーに キックオフミーティング開催

4月2日「エコでつながる西淀川」のキックオフミーティングを開催しました。

ESDに参画する学校の先生方、振興町会の方、廃油回収をしている地域の店舗の方など25名が集まりました。今までは、それぞれの団体や個人で廃油回収に取り組んでいたのですが、まずは団体同士の顔合わせの会として、それぞれの活動を報告し、意見交換を行いました。笑いがあふれ、活発な意見の飛び交う活気に満ちた会合となり、取り組んでいる人たちのやる気と笑顔が活動を進めるエネルギーになると実感しました。みんなで楽しく、エコでつながる西淀川の未来を描きながら、西淀川区民の誇りとなる活動になるよう、盛りあげていきたいと思っています。

（おだいらともこ…あおぞら財団
研究員）

交通まちづくりの討議の場「西淀川交通まちづくりプロジェクト」

谷内久美子

に、議論を通じて他の人の様々な意見を聞き、まちあるきや調査を行うことで交通まちづくりの必要性について実感してもらおうような工夫をしました。

プロジェクトの取り組み内容

2009年度の意見交換会では西淀川区全体の中長期的な交通まちづくりビジョンについて考えましたが、2010年度では現状のまちの課題を踏まえた上で提案を行いました。

基礎知識の習得（第1～3回）、地域内の移動・交通に関する調査（第4～6回）、調べた／話し合った内容の活用方法検討（第7、8回）という流れで行いました。

JR塚本駅周辺の自転車を活かしたまちづくりの提案

JR塚本駅周辺の周辺から自転車を排除するのではなく、自転車を活かしつつ、「西淀川の顔」としてにぎわいのある空間として整備していくことを提案しました。具体的には、「駅周辺の低未利用地を活用した駐輪場の整備」、「駐輪場料金の弾力化」、「利用者目線のわかりやすい案内看板の設置」「JR塚本駅周辺の自転車対策協議会の設置」を提案しました。

同案は、2月28日におおぞらビル3

交通まちづくりは自分たちで考えることが大事

買い物に行く、仕事に行く、友人に会いに行く、病院に行く、学校に行く……。何をするにも必ず移動が伴います。ですが、その移動を支える交通について、意見を言う人は多くありません。道路やバスなどの公共交通等の交通は、行政や交通事業者が取り組むべきものと思っている人の多いのではないのでしょうか？

ですが、車中心から人を中心において交通まちづくりに方向を転換するためには、市民の意識が変わっていくことが重要です。

そこで、おおぞら財団では、2010年度に、西淀川区民が自分たちのまち、西淀川の交通について討議する場として、交通まちづくりプロジェクトを行い、2009年度の意見交換会を継続する形で行っています。参加者

交通まちづくりプロジェクトのねらい

交通まちづくりプロジェクトには、二つのねらいがあります。

一つは、場づくり—市民が交通まちづくりに関する議論の場を作ること。気軽に議論できるように、1ヶ月に1回、約2時間の会合を行いました。

二つめは、人づくり—交通まちづくりに関する市民を増やすということ。今回、プロジェクトに参加してくださった方は、ほとんどがまちづくり活動などへの関わりが少ない人たちでした。このプロジェクトを通して、市民の声をまちづくりに反映させることが重要だという意識を持つ人を増やしていきたい、また、参加した人自身がこのプロジェクトを通して、知識を深め、視野を広げてほしいと思っています。そのため

STEP3

調べた／話しあった内容の活用方法検討

第7回
2011年
1/19(土)

・区役所への提案内容、方法を話し合い

意見交換会
2011年
2/28(月)

・区役所と意見交換



おおぞらイコバでの会合



JR塚本駅周辺のまち歩き

2010年度 交通まちづくりプロジェクトの流れ

STEP1 基礎知識の習得	STEP2 地域内の移動・交通に関する調査
第1回 7/17(土) ・車いす利用者の話 ・模擬体験	第4回 10/23(土) ・話し合い →放置自転車の多い JR 塚本駅を調べることに
第2回 7/24(土) ・視覚障害者のお話 ・模擬体験	第5回 11/13(土) ・JR 塚本駅の放置自転車 と駐輪場を確認 ・課題整理
第3回 8/21(土) ・専門家のお話 ・西淀川区の移動、 外出について話し合い	第6回 12/11(土) ・必要な対策を話し合い

階会議室で行われた意見交換会において、区役所に対して提案し、プロジェクトのメンバーと区役所の方と意見交換を行いました。プロジェクトのメンバーからは、「区の方針を示していた上で、市民ができることを考えていきたい」「住民のアイデアをどこに持って行けばよいか知りたい」といった意見が出ました。それに対して区役所からは「区は、地域の人々の積極的な協力を必要としている。できることから取り組んでいきたい」という意見でした。

交通まちづくりプロジェクトの取り組みを継続しよう

昨年度の交通まちづくりプロジェクト活動は、区役所との意見交換会で一旦終了しました。今後も引き続き活動を継続し、もっと施策の中に取り込んでもらえるように、行政と協働しながらやっていきたいと考えています。また、もっと参加メンバーが増えるように、適切に広報を行ったり楽しく活動したりできるような仕掛けが必要だと思えます。いずれも難しい課題ですが、工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。

(たにうちくみこ…あおぞら財団特別研究員)

西淀川バリアフリーマップ

谷内久美子

■あのお店はバリアフリー？

車いす利用者の方と一緒に昼ご飯を食べたい、盲導犬を連れた視覚障害者の方とお茶をしたい、そう思った時に、どこのお店に行けばよいかみなさんはすぐ分かりますか？

西淀川区内には、多くの施設があります。車いす利用者や視覚障害者などの障害者、高齢者にとって使いやすい施設かどうかは、直接、施設に行くまでわからないことが多いです。

そこで、少しずつバリアフリーの情報を集めて、マップにまとめています。バリアフリーに関する情報だけでなく、おいしい飲食店、素敵なお店、おすすめポイントなど、楽しい情報も追加していきたいと思っています。今はまだ御幣島駅周辺の40施設

ほどの情報しか集めていませんが、将来的には西淀川区内全体の情報を集めて、冊子にまとめて必要な人に配布したいと考えています。

■協力者を募集しています

お店に行った際に、車いすでも使えるかどうかを少し気にかけて見て、気づいた情報をあおぞら財団に教えてください。
Google (<http://www.google.co.jp/>)で「西淀川バリアフリーマップ」と検索してください。

■チェックポイントは4つ

- ① 出入口・車いすで出入りできるか。段差や幅、ドアの形状
- ② エレベーター・上下移動が必要な場合にエレベーターがあるか。
- ③ トイレ・便座の形状、個室の広さ
- ④ 駐車場・十分な幅の駐車スペースがあるか。他にも気づいた点をできるだけ教えてください。

バリアフリーマップの一部

◎かこの屋 歌島橋店
和食・しゃぶしゃぶのお店。お昼は、日替わりの定食が77円で食べられます。
2010年秋に改装されてバリアフリー化されました。店舗は2階にありますが、エレベーターが設置されています。入り口は斜めになっています。階段の下に、車いすマークの付いた呼び鈴が付いています。店舗内は土足厳禁で、入り口に10cmほどの段差があり、靴を脱いで入らないといけません。中はテーブル席と座敷席がありますが、いずれも畳の上にアザールが敷かれています。トイレは、洋式トイレ、多目的トイレがあります。
〒550-0012 御幣島2-1-22 TEL: 06-6476-3160 <http://www.kinrei.com/r/kagayama/>

◎さと 歌島橋店
和食のお店。
店舗は2階にあり、階段を登らないと入店できません。お昼時には、870円で日替わり定食が食べられます。
〒555-0025 堀里3丁目1-28 TEL: 06-6476-3305 <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp/>




◎サザンカ

日替わりランチ680円。1階は駐車場で、店舗は2階です。エレベーターがありませんが、階段に車いす対応の昇降機があります。客席の寄席、コンサート等の観客用イベントも行われています。
〒555-0012 御幣島1丁目1-18 TEL: 06-6471-1690 <http://blogs.yahoo.co.jp/ococo124312>





旅館をモチーフにした落ち着いた外観

あおぞら苑2号店(Ⅱ) できました

辰巳 致

みなさんこんにちわ。デイサービスセンターあおぞら苑施設長の辰巳致です。今回はあおぞら苑Ⅱについて書きます。

あおぞら苑1号店が西淀川区の大和田にできてから4年半、ついに2011年4月1日に2号店をオープンすることができました。これは本当に利用していただいているみなさまと、私たちをいろんな角度から支えていただいたみなさまのおかげだと、心から感謝しています。

価値と感動を毎日感じてもらいたい

さて、今回のあおぞら苑Ⅱの特徴はなんといっても、旅館をモチーフにしているところです。以前私は旅行会社で添乗員を3年間していた時期がありました。その中で、高齢者がどんなことを好むのか、どんなお風呂や食事が好きなのかを実際に肌で感じながら仕事をしていました。まさか、こんなところで役に立つなんて夢にも思っていませんでしたが(笑)。私はいつもどうやったら利用者を楽しんでもらうことができるのか、一日一日を満足できる日にできるのか、価値と感動を毎日感じてもらいたい、そんなことを毎日のように考えています。日本では70年前には戦争があり、この大阪も空襲で焼け野原になり、40数年前には高度成長期のなかで、私たちの街、西淀川も

「公害(大気汚染)」という、悪魔に襲われ、それでもこの西淀川の街に残り、今も住み続け、必死で生きています。そんな西淀川で、少しでも「西淀川にいてよかった」、ここで生まれてよかった」と思えるような人生を一緒に歩んでほしいと思っています。

近くの「オアシス」になりたい

年をとればなかなか自分で旅行も行けず、家族も離れていく現実には、「ほっと」一息つける高齢者の「オアシス」を創りたかったんです。

遠くまで行かなくてもここにお風呂もあるし、おいしいご飯も食べられる。ちよつと小旅行にきた気分を少しでも味わってほしいのです。今回は100坪の土地に建物をたて、西淀川ではほとんどない日本庭園風の庭もあります。なんととってもデイサービスではあまり見られない「露天風呂」もあります。

この場所が、みなさんの「オアシス」になり、西淀川区民に自慢していただける日が一日でも早く訪れるように、建物だけではなく、スタッフもみんなから愛されるように、これからはがんばっていかなくてはと気持ちを引き締めています。みなさんもぜひ、時間があれば立ち寄ってくださいね。最高の笑顔でお出迎えいたします。



あおぞら苑自慢の「露天風呂」窓から外の景色を楽しめます

後に、私たちの「夢」に賛同していただきたいと思えます。ありがとうございます！(たつみ いたる…デイサービスセンター あおぞら苑 施設長)

あおぞら苑とは

デイサービス施設。西淀川公害裁判の和解金の一部を拠出し2006年に1号店が誕生。あおぞら財団とは兄弟のような存在です。

あおぞら苑1号店

〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5丁目7-14

あおぞら苑2号店(Ⅱ)

〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2-4

TEL:06-6475-0111



北海道から来られた移動式風呂（自作）をお手伝い（4/18）



内陸部の遠野が支援拠点に。毎晩遅くまで、各地のNPOが情報交換（4/19）

東日本大震災…あおぞら財団の向き合い方

藤江 徹

3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とする強い地震が発生した。4月11日現在で、東日本大震災による死者は、12都道県の1万3116人に上る。行方不明は6県で1万4377人。負傷者は18都道県で4792人。建物被害は全壊4万8747戸、道路損壊は2136カ所（警察庁データより）

テレビを通じて伝わる被災地の状況に、阪神・淡路大震災当時は被災者であった自分を重ねつつ、あおぞら財団としてできることはないか？、理事や事務局スタッフ、ボランティア、つながりのある方々と相談し、少しずつですが取り組み始めています。

「公害」

財団が注視している被害の一つは「公害」です。公害とは、私企業・公企業の活動によって地域住民の被る人為的災害（広辞苑より）です。地震や津波を契機とした、原子力発電所からの放射能汚染、火災からの大気汚染、倒壊した工場や施設から流出する有害物質による土壌汚染や水質汚染、被災した建築物から飛散するアスベストな

どの被害が懸念されます。既に、福島第一原子力発電所からの放射能汚染による被害は広範囲の大気・土・水を汚し、人々の健康や暮らしを脅かし続けています。

あおぞら財団としては、①公害被害の把握と情報発信、②被災者の方々が安心できる暮らしを取り戻すための支援、そして、③たとえ地震が起きたとしてもこうした被害を少しでも少なくするための地域再生の取り組みを進めていきたいと考えています。

募金／支援物資／現地へ

3/23～31日まで、募金箱を設置したところ、149,607円募金をいただきました。集まった貴重なお金は、支援物資の購入・送付、現地活動団体への活動支援金とさせていただきます。

そして、支援物資を呼びかけたところ、メールや掲示板を見て、14人の方、衣料店にご協力いただきました。ありがとうございます。物資は、被災地での救援を行なっている「名もない救援隊」宛てにダンボール3箱分、燃料

不足の被災地をバイオディーゼルクーで支援にまわっている「バイオディーゼルアドベンチャー」宛てにダンボール1箱を送付し、それぞれ被災地に届けていただきました。

また、4月16日から21日まで、被災地（岩手県）を訪問し、被災地域の方や支援に取り組んでいるボランティア団体から現況と今後についてのお話を伺ってきました。帰阪後、22日に報告会を開催し、参加者の方々と情報を共有し、今後できることについて意見交換しました。こうした取り組みはあおぞら財団のブログで継続的に報告していきます。

（ふじえいたる…あおぞら財団事務局長）

お世話になったNPO

- 1) 名もない救援隊
<http://blog.livedoor.jp/namonai311/>
 - 2) バイオディーゼルアドベンチャー
<http://space.rgr.jp/bio/>
 - 3) 森と風のがっこう
<http://www5d.biglobe.ne.jp/~morikaze/index.html>
 - 4) 遠野市被災地支援ボランティアネットワーク遠野まごころネット
<http://www25.atpages.jp/tonomagokoro/>
 - 5) NPO法人ねおす
<http://www.neos.gr.jp/>
- あおぞら財団ブログ東日本大震災
<http://aozorabsw.exblog.jp/i32/>

ほっと ニュース

環境省職員研修

2011年2月9日(水)～10日(木)に環境省職員の環境問題史現地研修の受け入れを2日間にわたっておこないました(1日目12人/2日

目9人)。昨年に引き続き、1泊2日のコースです。患者さんの話、弁護士の話、西淀川高校の見学、西淀川のフィールドワーク、グループディスカッションなど、盛りだくさんなプログラムです。「現場を見て、わたったこと、学んだことを仕事にいかしていきたい」「公害は過去のものではないことがわかった」「また、来年も来ます!」といった言葉が聞かれました。

評議員会、理事会を開催

2011年度事業計画と予算を決める第27回評議員会(2月8日)と第36回通常理事会(2月20日)をおおぞらビルのグリーンルームにて開催しました。会議では、事業計画案と予算案とともに、公益財団法人移行認定申請について審議しました。

呼吸リハビリ講習会を開催しました

ちょっと動いただけで息切れがする、しんどくなるのが嫌で外出を控え、余計に体力がなくなり息切れが起こりやすくなる。そういったことを改善する



家でも取り組めるリハビリも教わりました

呼吸リハビリを体験してみませんか? 3月9日にぜん息・COPD患者とその家族向けの呼吸リハビリ講習会を行いました。(講師:金尾顕郎教授/森ノ宮医療大学、参加者40名)

また、医療従事者の方に少しでも呼吸リハビリについて知ってもらい、拡げるために医療従事者(理学療法士や看護師)向けの講習会を2月26日に開催しました(講師:佐藤雅昭理学療法士/健寿協同病院、千住秀明教授/長崎大学 参加者32名)。呼吸リハビリってどんなこととするの?という話から、地域で連携して呼吸リハビリに取組んでいる実践例などの紹介もありました。

おねがいとおしらせ

リベラへのご意見・ご要望または投稿をお待ちしています。また、メール通信「あおぞらEXPRESS」を開設しています。ぜひご利用下さい。

配信を希望される方は

<http://groups.yahoo.co.jp/group/aozora-mail/>から登録できます。

リレーエッセー

「林さんまだ女子大生なんやろ?」と事務局長の藤江さんに揶揄され続けていましたが、今春ようやく大学院博士課程を修了し、博士(文学)が授与されました。私とおおぞら財団とのかわわりは1999年にさかのぼります。日本近代史を専攻していたこともあり、大学の先生から「西淀川裁判記録の目録をとるアルバイトがあるよ」と誘われたのが始まりです。

環境を研究していたと思われることが多いのですが、私の研究テーマは「羽仁もと子」。家計簿の考案者であり、雑誌『婦人之友』の創刊、大正自由教育の自由学園を創立した人物です。おおぞら財団理事で患者会会長の森脇さんから

最後?の卒業式

林 美帆

「西淀川公害を研究しない?」と誘われ続けましたが、私は自由学園の卒業生で、羽仁の思想を解明したいという気持ちを抑えることができませんでした。博士課程在学中におおぞら財団に就職し、資料館だけでなく畑違いの環境学習の担当にもなり、仕事に忙殺されて研究なんてとんでもないという状態が続きます。しかし、今年が博士論文提出の最後のチャンスだったこともあり、秋から一念発起し、無い時間を作り出して書きあげることができました。職場の皆さん、指導教官、家族の協力がなければできなかったこととです。本当にありがとうございました。博士論文の題目は「羽仁もと子論—もう1つの近代家族論—」です。月並みですが、人間、やればできるんだなあと思いました。



やっと卒業しました

これからは、森脇さんの希望にそって(?)公害や地域再生の研究にも尽力できるように努力します。

(はやし みほ...おおぞら財団 研究員)

- 1日(火) 軒先そうじの日
事務局会議
- 2日(水) 広報会議
- 3日(木) 広報会議
佃中学校職業講話
あおぞらプロジェクト大阪幹事会
- 4日(金) ボランティアの日
みずしま財団 環境・社会学習実体験視察モデルツアー(参加)
- 5日(土) エコドラ講習会
ぜん息患者懇談会
- 6日(日) 泉北水辺の博覧会
- 8日(火) 事務局会議
評議員会
- 9日(水) 環境省職員研修
ECOまちネットワーク・よどがわ会議
大阪から公害をなくす会まちづくり委員会
- 10日(木) 環境省職員研修
緑陰道路サロン世話人会
ぜん息患者懇談会
- 12日(土) ぜん息患者懇談会
- 13日(日) きんき環境団体大集合(参加)
- 15日(火) 事務局会議
資料館定例会議
第3回環境と観光をつなぐ検討会(出席)
徳島ぶらりエコカフェ(講師)
大阪市陳情行動(参加)
スタディツアー一括会議
- 18日(金) 資料館スタッフ会議
[大阪でタンDEM自転車を楽しむ会]打合せ会議
ECOまちネットワーク・よどがわニュースレター編集会議
エコ安全ドライブ講習会
中高生がよむ環境問題かみしばいin西淀川図書館
- 20日(日) 理事会
関西NGO大学(ゲスト:林)
将来構想委員会
フードマイレージ講義(ガールスカウト)
- 21日(月) 大阪府陳情行動(参加)
地域資料研究会(参加)
- 22日(火) 事務局会議
アイスト倶楽部会合情報交換会
- 23日(水) 日中NGOシンポジウム〜環境教育をめくって(〜2/26)参加
歌島橋交差点清掃
- 24日(木) てづくりせっけん教室
西淀川IESD全体会議
[大気汚染と裁判]ホームページコンテンツ制作業務検討委員会
西淀川公害患者と家族の役員会(報告)
[福の島]上映会〜地域とエネルギーの未来を考える〜、ECOまちネットワークよどがわ総会
- 26日(土) 呼吸リハビリ普及ワーキング会議
呼吸リハビリ講習会(医療従事者向け)
日中の公害・環境問題を考える学生セミナー
西淀川交通まちづくり意見交換会
- 27日(日)
- 28日(月)

2月

事務局日誌

3月

- 1日(火) 事務局会議
西淀川公害患者と家族の会転地療養(参加、〜2日)
- 2日(水) 東大阪市まちづくり助成金審査会(委員)
- 3日(木) あおぞらプロジェクト大阪幹事会
- 4日(金) ボランティアの日 リベラ発送
- 5日(土) 西淀川高等学校協議会(委員)
矢倉海岸定例探鳥会
廃油リサイクル交流会 第2回石けんづくり
東大阪市まちづくり助成金審査会&講演会(委員)
- 6日(日) フードマイレージ教材化研究会
- 8日(火) 事務局会議
軒先そうじの日
- 9日(水) 呼吸リハビリ講習会(患者向け)
広報会議
- 10日(木) 環境省立入検査
- 12日(土) 阪堺線フォーラム
- 14日(月) 第一回西淀川環境住宅研究会
- 15日(火) 事務局会議
常務会
- 16日(水) 子どもの参画けんきょう会
- 17日(木) 徳島環境リーダー報告会(講師)
- 18日(金) 資料館定例会議
- 19日(土) ぜん息患者懇談会
西淀川図書館紙芝居
佃1-3町会廃油キャンダルづくり
- 22日(火) 事務局会議
淀川区わかまち会議(講師)
- 24日(木) 歓送迎会
患者会役員会
第4回「私の水辺」実行委員会(委員)
- 25日(金) エコミューズ運営協議会
- 26日(土) シニア自然大学STARQ米館
緑陰道路サロンイベント「緑陰道路でゲーム 福漁港を目指そう」
- 29日(火) 事務局会議
西淀川IESD会議
- 30日(水) フードマイレージ教材化研究会

編集後記

4月になり財団が少し変わったと感じるのは、春になって陽気な雰囲気になったせいだけではありません。

新しく入るスタッフと、新たな場で頑張ることになったスタッフとの、出会いと別れ。複雑な気持ちが入り混じります。いつでも会えるさ、と言い聞かせて、これからはお互いがお互いのサポーターになります。(新しいスタッフの相澤くん、頑張って！お世話になりました。北中・眞鍋)

お知らせ

矢倉海岸定例探鳥会

(日本野鳥の会大阪支部との共催)
日時 6月4日(土)、7月2日

東日本大震災活動支援金をあ
おぞら財団事務所で集めてい
ます。

3月23日〜31日の間で、1
49,607円が集まりました。
支援物資の購入や送付代、
現地活動団体への送金として
使わせて頂きます。引き続き、
ご協力よろしくお願ひします。

(土) 午前9時30分〜午後
12時30分頃(現地解散)
集合 阪神電鉄西大阪線「福」駅
改札口 午前9時30分、解
散 矢倉緑地公園

場所 矢倉緑地公園他

あおぞら財団「ボランティアの日」

日時 6月3日(金)、7月1日
(金) 午前9時30分〜午後
5時30分(応相談)

場所 あおぞら財団事務所内(随
時ボランティアは受け付け
ているのでご興味ある方は
ご連絡ください)

ぜん息患者こんだん会
日時 ①5月19日(木) 14時〜15
時

場所 ①千北診療所
②よどぎの里

お礼

(2011年2月・3月 敬称略)

●寄附・寄贈者

浅井真二、上杉剛、遠藤宏一、北
泊謙太郎、酒井健一、田中佳世、
中村昌史、西淀川子どもセンター、
新田保次、福本富男、森田紗世、
山本康子、粟谷至、交通エコロジ
ィ・モビリティ財団、小磯明、小

田康徳、野呂汎、眞鍋麻衣子
●お助けボランティア参加者
相澤翔平、浅井真二、伊藤亜紀穂、
岡崎久女、蒲原よし子、佐成志朗、
馬場勇介、吉永佳奈
●入会ありがとうございました
内田 充俊

職員についてのお知らせ

北中大輔氏が3月末に、眞鍋麻
衣子氏が4月末に退職いたしました。
この間、お世話になったみな
さま、ありがとうございました。
4月からは、新たに相澤翔平が
職員として頑張っております。今
後ともどうぞよろしくお願ひいた
します。

『Libella』No.120 2011年5月号(隔月1日、年6回発行)
発行所 (財) 公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人 眞鍋麻衣子
大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4階
Tel.06-6475-8885 Fax.06-6478-5885
http://www.aozora.or.jp/
E-Mail webmaster@aozora.or.jp
印刷所 あゆみコーポレーション
定価 一部400円(郵送料込み)
会員の購読料は会費に含まれています。
郵便振替口座 00960-9-124893(加入者名 あおぞら財団)
乱丁・落丁はお取り替えます。本紙掲載記事の無断転載を禁じます。



東淀川区で「大ス樹」（だいすき）というオーストリアの木の家具や、自然素材や睡眠を考えたベッド、寝具、木の小物、洗剤、化粧品など気に入ったこだわりを集めて展示販売をしています。また父が大工で子供の頃は弟子や職人さんと暮らしていました。そんな関係で夫も大工で、木造住宅を建てる「山本木工務店」もいっしょにやっています。

※山本木工務店と大阪市大の研究室とが協同で改修した「豊崎長屋（築80年以上）」で、第23回大阪市ハウジングデザイン賞特別賞を受賞しました。

やまもと ようこ
山本 容子

最近気づいた、生活へのこだわり

自己紹介は『けち』

5年くらい前「ECOまちネットワーク・よどがわ」が大阪経済大学の地域活性化支援センターに発足するときに声をかけていただき参加するようになりました。そこであおぞら財団の林さん、藤江さん、小平さんとお会いするようになり、今春はじまったGREEN（西淀川から住まいと暮らしを考える環境住宅研究会）におじゃましています。

自己紹介する時に『けち』です。パブルの時は肩身の狭い思いをしましたが今は少し胸を張って言えるようになりました。『と言う事があります。よく健康の為に玄米を食べたりされますが、私の



動機は精米した時のヌカがもったいないからなのです。廃食油を集めたかったのも、ただほかすのがもったいないからなんです。

ここだけの話？ YouTube でエアデイナーを検索すると私も出てくるのですが、世界大会で何回か入賞しました。無意識でやったもったいないパフォーマンスが良かったみたいで自分でも驚いています。

娘に引き継がれ、うれしい

みなさんそれぞれこだわりがあると思います。私も自分のやってきたことを振り返ってみると、持続可能で自然と調和する健康な生活にこだわっていたことに気づきました。それも最近。

たとえば20年くらい前から太陽熱（無料）で床暖房する住宅を建てて自らも住んでいたり、15年くらい前からは大工さんなどのDIY教室をおこなっていたり、「大ス樹」をオープンしたのもそうですし、10年以上マイ箸、布ナプキンを使っていたり、石けん、ぬかづけ、うめぼし、みそ、らっきよとかつくっています。また我が家の暖房は火鉢です。とてもたのしいです。自然にこの楽しい事に導かれて、す

ばらしい方々に巡り会え不思議な人生だと思っています。

最近うれしいことは、娘たちが私のする事を理解して協力してやってくれる事です。たまに、私なりに節約しているのを見ていて末娘が「こうしたほうがいいよ」と言います。そのとおりなので、子に指摘されて最初ちょっとムツときますが、そのあとでニヤツとしてしまいます。さすが私の娘、バージョンアップしてるやん！と……「免許皆伝や、もう嫁に行けるー行っていいで」と言い返します。自分の思いが確実に次世代に引き継がれていると感じるのはうれしい。

原発が、なくなればいいです

こんな節約精神が伝わって、原子力発電所がなくなればもつとうれしいです。最後に、東日本大震災で世界の歴史に残る大変大きな被害を目の当たりにし、被災されている方々のご苦労を察すると私の今の困難など、どうでもいらいちっぽけな事に思えています。危険な原子力発電をうまくやめていくような運動があれば力になりたいと思っています。